

広報 ⊕
No.715
令和5年

いいいたて9



飯館村によこそ!スポーツ×笑顔は最強です!



小学生の部 1 km × 4 区、16チームがエントリー。



中学生の部 2 km × 4 区、10チームがエントリー。



一般の部 3 km × 4 区、27チームがエントリー。



チームワーク◎の「いいいたてホーム」選手団。



異動先から参加してくださった先生方も!学園の選手団。



村内事業者が出店し心尽くしのメニューでおもてなし。



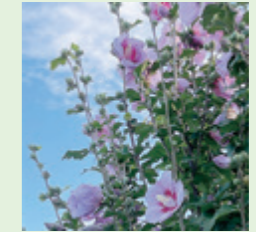
賞品もいろいろ。飛び賞はなんと飯館産黒毛和牛のお肉。



力走も笑顔もワンダフル!
夕涼みにぴったりの時間から始まる「いいいたてナイター駅伝」。昨年に続く第2回の開催です。開会式とランニング教室に続いて、小学生の部、中学生の部、一般の部が行われました。チームの構成は、学校、ランニングサークル、職場、市町村とそれぞれですが、どの選手も精一杯の走りで、仲間と支え合いタスキをつなぐ駅伝を、心ゆくまで楽しんでいました。
飯館らしい涼やかな夕風に吹かれ、暮れていく空の下での駅伝は特別な雰囲気。個性豊かな各チーム、選手の方々の爽やかな走り、仲間と交わす笑顔。どのシーンもワンダフルでした。

いいいたてナイター駅伝2023

8月5日、いいいたてスポーツ公園で、「いいいたてナイター駅伝」を開催しました。開会式は午後5時から。陸上競技場をスタート・ゴールに、公園内の周回コースで各チームがタスキをつなぎます。出場チームは前回の38チームから大幅に増加し、53チームが参加しました。



晩夏を彩るムクゲの花。(佐須)

目次 CONTENTS

- 02 話題「いいいたてナイター駅伝2023」
- 04 特集「いいいたての夏!」
- 10 学びの広場「学びの旅」ほか
- 12 ほけんとふくし「長寿番付」
- 14 空から百景「緑に染まる農地」
- 16 ほけんとふくし「自殺予防週間」ほか
- 17 お知らせ「魅力向上発信事業」ほか
- 18 いいいたて便り
- 20 話題のパレット
- 22 村からお知らせ
- 24 いいいたてイノサル通信
- 25 歴史の散歩道／ふれ愛館だより
- 26 いいいたてDIARY／村民広報委員コラム
- 27 愛楽故郷味／ひとのうごき
- 28 ほっとNEWS／方言動画

📷 今月の表紙

8月6日、ふかや風の子広場で、オープンから3周年の記念イベントが開催されました。その日は隣接するいいいたて村の道の駅までい館でも「いいいたて夏まつり」が開催されていて、たくさんの家族連れでにぎわっていました。写真は広場の屋内運動施設「ひみつ基地どきどき」の前にあるびよんびよんドームで遊ぶ子ども達です。

村はイベントや取り組みを取材し広報紙やホームページに掲載しています。写真掲載に不都合がある方は、お手数ですが、村づくり推進課企画定住係☎0244-42-1613までお知らせください。

ふくしま駅伝に向けて

飯館村チームは、今年も単独チームでの出場を目指し、このスポーツ公園で毎週火・金曜日の夕方に練習会を開いています。選手候補生も募集中です。お問い合わせは生涯学習課(いいいたてスポーツ公園) ☎0244-42-0152までお気軽に。



ハートフルなイベントが彩る いいたての夏!

いいたてで楽しもう！いいたてを楽しもう！
そんな思いが集まって。



品種開発の経緯を語る菅野元一さん。



「コーヒー屋の食堂」(草野)にて掘り立てを味わいながらの交流会。



ホイル焼きのイータテベイクをさまざまな調味料で味わう…!



楽しいね、イモ掘り。



福島大学食農学類 飯舘村フィールド 真夏の宝探し
「イータテベイク」を掘って!学んで!食べて!

8/11

菅野元一さん(宮内)が育成したジャガイモ品種「イータテベイク」の活用について研究を行っている福島大学食農学類飯舘村フィールドの皆さんが、イモ掘り体験と交流会の二本立てで、ワークショップを開催しました。参加者は、無肥料・無農薬で栽培できる品種の特長、煮崩れしにくくとろみがつく調理上の特性などに触れながら、イータテベイクを味わい尽くす体験を楽しんでいました。

夏の飯舘村を舞台に、あたたかな気持ちのこもった数々の催しが繰り広げられました。催しを通して多くの人々が村に集い、マスクを外した輝く笑顔にもたくさん出会うことができました。

当日参加できなかった方にも、そのハートフルなシーンを、一部ではありますがお届けしたいと思います。ふるさと飯舘村を盛り上げようと汗を流す人、飯舘村に心を寄せ工夫いっぱいの企画で交流を楽しむ人、そうした人のやさしさや熱い気持ちもぎゅっと詰まっています。



自由な雰囲気音楽を満喫。



飯舘の青空に放つハーモニー。



ゲスト出演の「六角節」。



8/5

いいたてアカペラヴィレッジ まていなカペラ
MadeinaCapella実行委員会
まていな一歩から始まるハーモニー

地元住民と県内外の大学生が主体となり企画・運営を行ったアカペライベントが、ふかや風の子広場で開催されました。当日は、13組のグループが、青空の下でアカペラを披露。美しいハーモニーに引き寄せられ、足を止めて聴き入る人もいました。また、テレビ番組「ハモネブ2023春」にも出場した「六角節」がゲスト出演。圧巻の声量とオリジナリティーあふれる曲調に、会場は大きな拍手で包まれました。

8/12 いいたて村の道の駅までい館6周年感謝祭



飯館産黒毛和牛の焼肉丼、牛串を数量限定で販売。人気を集めました。



飯館産イチゴを使ったパンケーキなど出店の商品も魅力いっぱい。

村内企業の協力も得て特別開催。「はたらくクルマ大集合!!」。



夏を彩る花畑

道の駅前に広がるカラフルな花畑。飯館村振興公社が管理しています。



楽しい企画が盛りだくさん!
 深谷復興拠点エリアに夏が来た

いいたて夏まつり **8/6**

飯館村商工会が企画・運営を行い開催しています。



豪華賞品のビンゴ大会。



ふかや風の子広場3周年

8/6

木工教室、紙芝居、パトカーや白バイの試乗体験などを行いました。



スタッフの皆さん。楽しい時間をありがとう!

道の駅に今年もスーパーカーが大集合! 8/27



8月27日、「いたてスーパーカーフェスティバル2023」が開催されました。3回目となった今回は、昨年より多くの方が全国各地から来場しました。スーパーカー54台の他にも、バグースタイルハーレー(バイク)14台の展示や山木屋太鼓の演奏、ポニーとのふれあいも行われ、道の駅を訪れた家族連れやスーパーカーファンが興味深そうにカメラを向けていました。



交流センターで開催!
 チャリティーコンサート

8/27

交流センター「ふれ愛館」で、『わくわくチャリティーイベント』が開催されました。村内外から幅広く出演者を募り、希望した楽曲の演奏は豪華な生フルバンドで行われました。当日は約70の方が思い思いに熱唱。また、花京院しのぶさんや藤田征人さんの歌謡ショー、岡宏&クリアトーンズオーケストラによる圧巻のバンドショーなどで大いに盛り上がりました。主催した征人ミュージックオフィスではカラオケ愛好者を募集中です。



「ふくしま田園中枢都市圏」の連携を生かして

令和3年に発足した「ふくしま田園中枢都市圏」のつながりを生かしたイベントが行われました。NPO福島ユナイテッドスポーツクラブによる『第10回福島ユナイテッドFCカップ』は、8月7日、福島市・伊達市・飯館村にエリアを拡大して開催されました。8月27日には、福島市及び周辺自治体の農家の方々が農産物や6次化商品を直接販売する『福島駅前軽トラ市』に、飯館村から初出店。株式会社リファー(白石)が、採りたてのカボチャやミニトマト、ピーツなどを販売しました。

株式会社リファー(白石)が初参加。対面販売で農産物の魅力を伝えます。



8/27

いたてスポーツ公園のサッカー場で、カラフルなユニフォームの少年選手が躍動。

8/7



福島ユナイテッドFCカップ

地区ごとの盆踊りにぎやかに

二枚橋地区



8/13

地区ごとの夏祭りや盆踊りが開催されました。会場にはそれぞれ、地区の皆さんはもちろん、帰省した家族やゆかりの皆さんも集まって、手作りの出店や、やぐらを囲んでの盆踊り、のど自慢のカラオケ大会などを楽しみ、夏の夜のひとときを共に過ごしていました。

飯樋地区 豊年盆踊り



8/14

草野地区



8/13

山津見神社AR体験
 オオカミアートワークショップ

8/19

飯館村の復興を芸術の力で後押しする有志の団体「team OOKAMI(チームオオカミ)」が、宿泊体験館きこりで『オオカミアートワークショップ』を開催しました。チームのメンバーで美術品販売などを手がける作山雄彦さんが、実践女子大学(東京都)と協力して企画しました。参加した子ども達は、紙芝居型の作品で山津見神社に伝わる白オオカミ伝説に耳を傾け、同大学の学生達と交流しながら、オオカミをモチーフにした作品づくりを楽しみました。



作品を使って撮影した画像が、画面上で実際の景色の中に現れる「拡張現実(AR)」も体験。



ワークショップの後、実際に山津見神社を訪れて参拝し、天井オオカミ絵も観賞しました。

いいたて希望の里学園×上智大学 夏休みの交流会

8月7日からの4日間、上智大学の学生がいいたて希望の里学園を訪れ、後期課程の生徒と交流しました。7・8年生は部活動交流、9年生は受験に向けた学習会を通して、たくさんの会話を交わし、交流を深めました。学習会では苦手分野を克服すべく、学生からの優しく丁寧なアドバイスでヒントを探し、一緒に考え、答えを見つけ出していました。最終日の送別会では、学生からの逆サプライズで生徒へお土産が手渡され、さらに毎日勉強を頑張った9年生には表彰状が手渡されました。



8月9日の学習会の様子。学生が生徒一人ひとりに寄り添い、実力テストの過去問題に取り組みました。

第4回わんぱく相撲女子全国大会へ 村から選手に激励金を交付

8月21日、いいたて希望の里学園6年生の磯山妃龍(きらら)さんら2人の児童が来庁し、「第4回わんぱく相撲女子全国大会新潟しばた大会」に出場することを杉岡村長に報告しました。同大会は、相撲を通じて礼儀や感謝の気持ちを学び、絆を育むことを目的に開催されており、小学4～6年生の女子選手約240人が全国から出場します。週に6日、南相馬市で練習を積む2人は、原町青年会議所管内の選手として出場。予選大会を勝ち上がり、福島ブロック代表として全国大会に進出しました。



全国大会本番は9月24日。家族やふるさとの応援を励みに、これまでの練習の成果を発揮してください。

学童保育でワークショップ 初めての挑戦にワクワク!

8月4日、夏休み中の学童保育で『タッチケア&ハーバルバスサシェづくり』のワークショップが開かれました。企画は一般財団法人飯館までい文化事業団で、いたわりを持って触れ合うタッチケアやハンドケア、村産ハーブを使った入浴剤づくりに児童が挑戦しました。タッチケアは福島市の佐藤直美さん、バスサシェづくりは村内に事務所を構えるアロマブランド「SHIRUBE」の渡部沙織さんが講師を務めました。児童は新しい体験に瞳を輝かせ、ゆったりとした雰囲気の中で触れ合いや香りづくりを楽しみました。



ヒマラヤ産の岩塩バスソルトと村産ハーブを好みでブレンド。布の袋に入れてサシェ(香り袋)をつくります。

8月7日から10日、いいたて希望の里学園の5・6年生の希望者14人が学びの旅へ。北海道からふるさとを見つめ、体験を通して北海道の自然や歴史を学びました。

食と農業の魅力や可能性をゲームを通じて楽しく学びました。

クボタアグリフロント

大倉山展望台

菅野牧園(栗山町)で菅野義樹さんにお会い

菅野義樹さん(比叡)に震災以降のできごとやふるさとへの想いを話していただきました。併設のファームレストランでは、ここで育った黒毛和牛の牛肉を味わいました。



美しい風景の中で牧場ならではの作業体験をしました。



9月24日に活動報告会を開き、学びの成果を伝えます。

楽しみにしていた交流の時間。歓迎してくれた「栗山キッズ」に感謝を伝えました。

栗山キッズとの交流



円山動物園



タブレットを使いこなして体験や感動はその場で記録。



木の実や小枝をレイアウトして写真立てを制作。



大倉山展望台



クボタアグリフロント

令和5年度 長寿番付

ご長寿を祝して

男性 ■
女性 ■

91歳以上の方の長寿番付を発表します。この番付の年齢は、起算日となっている令和5年4月1日現在のものです。また、お名前は行政区順に掲載しています。なお、9月10日に開催する『令和5年飯館村敬老会』については、75歳以上の方に招待状をお送りしています。4年ぶりとなる敬老会です。ぜひご出席ください。

107歳	107歳	■	古川トミ子	伊丹沢
102歳	102歳	■	坂本チヨ	伊丹沢
102歳	102歳	■	佐藤ナミヨ	伊丹沢
102歳	102歳	■	阿部キノ	伊丹沢
102歳	102歳	■	荒 二三子	飯樋町
101歳	101歳	■	田村マツヨ	伊丹沢
101歳	101歳	■	馬場保子	白石
100歳	100歳	■	今野義實	前田・八和木
100歳	100歳	■	高橋みつ	前田
99歳	99歳	■	佐藤オイシ	伊丹沢
99歳	99歳	■	佐藤ハルヨ	前田
98歳	98歳	■	横田フミエ	草野
98歳	98歳	■	齊藤マツヨ	深谷
98歳	98歳	■	佐藤フミヨ	伊丹沢
98歳	98歳	■	齊藤光一	八木沢・芦原
98歳	98歳	■	中川廣男	宮内
98歳	98歳	■	佐藤ミサオ	上飯樋
98歳	98歳	■	五百川ミツ子	蕨平
97歳	97歳	■	横山キクヨ	草野
97歳	97歳	■	堀井リン	草野
97歳	97歳	■	高倉アイ子	伊丹沢
97歳	97歳	■	庄司孝夫	伊丹沢
97歳	97歳	■	庄司ヤイ子	伊丹沢
97歳	97歳	■	小林ハル子	小宮
97歳	97歳	■	佐藤ヨシノ	八木沢・芦原
96歳	96歳	■	花井ハルノ	伊丹沢
96歳	96歳	■	菅野アサ	伊丹沢
96歳	96歳	■	菅野ウメノ	伊丹沢
96歳	96歳	■	高橋キヨ子	小宮
96歳	96歳	■	菅野昌基	宮内
96歳	96歳	■	長谷川トメノ	宮内
96歳	96歳	■	北山安信	飯樋町
96歳	96歳	■	大谷八郎	上飯樋
96歳	96歳	■	菅野千代子	比曾
96歳	96歳	■	杉上キイ	蕨平
96歳	96歳	■	菅野仲治	蕨平
96歳	96歳	■	半沢キクヨ	白石
95歳	95歳	■	高橋ヤヨイ	草野
95歳	95歳	■	渡邊きみ子	小宮
95歳	95歳	■	志賀正二	小宮
95歳	95歳	■	半澤文男	八木沢・芦原

95歳	95歳	■	大内テルイ	佐須
95歳	95歳	■	星 志保	上飯樋
95歳	95歳	■	佐藤昭子	上飯樋
94歳	94歳	■	管野宗光	草野
94歳	94歳	■	新谷ヨシイ	伊丹沢
94歳	94歳	■	長谷川キミノ	伊丹沢
94歳	94歳	■	木幡トヨノ	伊丹沢
94歳	94歳	■	伊藤八重子	伊丹沢
94歳	94歳	■	武藤貞子	関沢
94歳	94歳	■	高橋保子	小宮
94歳	94歳	■	大久保仲枝	宮内
94歳	94歳	■	北山ミツ子	飯樋町
94歳	94歳	■	赤石澤イハ枝	飯樋町
94歳	94歳	■	佐藤ミドリ	前田・八和木
94歳	94歳	■	久保内 亨	大久保・外内
94歳	94歳	■	村上エイ子	上飯樋
94歳	94歳	■	佐藤ウメヨ	関根・松塚
93歳	93歳	■	栴沢秋子	草野
93歳	93歳	■	佃野カネ	草野
93歳	93歳	■	松田ヨシイ	深谷
93歳	93歳	■	市澤ナヲ子	深谷
93歳	93歳	■	庄司ミイ子	伊丹沢
93歳	93歳	■	菅野ミツ	伊丹沢
93歳	93歳	■	菅野重子	伊丹沢
93歳	93歳	■	末永ケサ	伊丹沢
93歳	93歳	■	新妻春子	伊丹沢
93歳	93歳	■	高野トシヨ	伊丹沢
93歳	93歳	■	庄司ハナノ	小宮
93歳	93歳	■	郡 玲子	大倉
93歳	93歳	■	佐藤ユキイ	大倉
93歳	93歳	■	北山フヨノ	飯樋町
93歳	93歳	■	荒 コフ	飯樋町
93歳	93歳	■	佐藤利雄	前田・八和木
93歳	93歳	■	藤井喜江	上飯樋
93歳	93歳	■	高橋チイ	上飯樋
93歳	93歳	■	菅野武治郎	比曾
93歳	93歳	■	嶋原ワカ子	長泥
93歳	93歳	■	佐藤正清	関根・松塚
92歳	92歳	■	羽賀吉光	草野
92歳	92歳	■	横山アキ子	草野
92歳	92歳	■	長谷川智恵子	伊丹沢

92歳	92歳	■	山田ヨシコ	伊丹沢
92歳	92歳	■	星 ミサヨ	伊丹沢
92歳	92歳	■	星 富枝	伊丹沢
92歳	92歳	■	山田トシ子	伊丹沢
92歳	92歳	■	田村スズエ	伊丹沢
92歳	92歳	■	高橋圭子	伊丹沢
92歳	92歳	■	伊東キヨ	関沢
92歳	92歳	■	小林利雄	関沢
92歳	92歳	■	菅野ナカ子	関沢
92歳	92歳	■	酒井マサ子	小宮
92歳	92歳	■	清野スキノ	小宮
92歳	92歳	■	半澤ミヤ子	八木沢・芦原
92歳	92歳	■	佐藤キヨノ	大倉
92歳	92歳	■	大内清忠	佐須
92歳	92歳	■	佐々木謹一	佐須
92歳	92歳	■	赤石澤秀子	飯樋町
92歳	92歳	■	渡邊ハルミ	前田・八和木
92歳	92歳	■	小林信一	前田・八和木
92歳	92歳	■	小林トヨ子	前田・八和木
92歳	92歳	■	久保内スミ子	大久保・外内
92歳	92歳	■	久保内マサイ	大久保・外内
92歳	92歳	■	桑折トシイ	上飯樋
92歳	92歳	■	高橋トキ子	上飯樋
92歳	92歳	■	菅野 安	比曾
92歳	92歳	■	菅野隆吉	比曾
92歳	92歳	■	菅野フクノ	比曾
92歳	92歳	■	高橋與吉	長泥
92歳	92歳	■	菅野ヨシ	長泥
92歳	92歳	■	菅野ツメヨ	長泥
92歳	92歳	■	齋藤 隆	蕨平
92歳	92歳	■	佐藤カヨノ	二枚橋・須萱
91歳	91歳	■	松下フジイ	草野
91歳	91歳	■	渡部清長	草野
91歳	91歳	■	中野幸夫	草野
91歳	91歳	■	赤石澤ハツイ	草野
91歳	91歳	■	末永キク子	深谷
91歳	91歳	■	佐藤シヅエ	伊丹沢
91歳	91歳	■	高橋イミ子	伊丹沢
91歳	91歳	■	原田ミツヨ	伊丹沢
91歳	91歳	■	庄司登美子	伊丹沢
91歳	91歳	■	佐藤敏子	伊丹沢

91歳	91歳	■	新谷トメコ	伊丹沢
91歳	91歳	■	小山田廣子	小宮
91歳	91歳	■	菅野吉雄	小宮
91歳	91歳	■	鍛冶内シゲノ	小宮
91歳	91歳	■	杉岡タケノ	小宮
91歳	91歳	■	森 京子	八木沢・芦原
91歳	91歳	■	中井田 忠	大倉
91歳	91歳	■	菅野貞子	佐須
91歳	91歳	■	阿部ヤス子	佐須
91歳	91歳	■	西川ハツ子	宮内
91歳	91歳	■	森永安子	前田・八和木
91歳	91歳	■	菅野ウメ	前田・八和木
91歳	91歳	■	横山ヨシ子	前田・八和木
91歳	91歳	■	佐藤仲子	前田・八和木
91歳	91歳	■	高橋スエ	上飯樋
91歳	91歳	■	細川太壽	上飯樋
91歳	91歳	■	佐藤ユキ	上飯樋
91歳	91歳	■	須藤浪男	比曾
91歳	91歳	■	須藤トヤノ	比曾
91歳	91歳	■	中島美子	比曾
91歳	91歳	■	菅野百二	比曾
91歳	91歳	■	菅野マツ	比曾
91歳	91歳	■	菅野カネヨ	長泥
91歳	91歳	■	今野トクエ	蕨平
91歳	91歳	■	今福ミツ井	白石
91歳	91歳	■	浅間ハル	白石
91歳	91歳	■	長谷川利治	前田

敬老会を開催します

9月10日(日)午前10時30分から
しいたて希望の里学園 第一体育館

敬老者の皆様には招待状を送付し
ています。ぜひご出席ください。

問 健康福祉課福祉係 ☎0244-42-1633

平成29年の避難指示解除から6年。飯館村の農地はその輝きを一步一步取り戻しています。写真は八和木地区の水田です。解除前にはこのエリアの一部で実証栽培が行われていました。解除後は毎年少しずつ稲作再開の面積を拡大。今年は見渡す限りの美しい風景が広がりました。道の奥には蕎麦畑も見えます。水田が黄金色に染まる秋の風景も楽しみです。

空から 百景

緑に染まる農地
八和木地区

飯館村の魅力を伝えています!

昨年に引き続き、飯館村の魅力を村外の多くの方に知っていただくための事業「いいたて魅力向上発信事業」「ミチシル旅(移住定住検討者向けモニターツアー)」を展開しています。

今年の魅力向上発信事業は、宮城県仙台市・東京都などに出席し村の農畜産物等の安全性やおいしさを直接伝えています。秋は協力大学の学園祭にも登場します。



Instagram

飯館村 魅力向上 発信事業

県外の皆さんへ 村の魅力を発信!

今年のミチシル旅は『はじめてのミチシル旅』『つながるミチシル旅』の2シリーズ(各3回)で展開中。毎回異なるテーマで村の魅力に触れていただいています。



飯館村 はじめての ミチシル旅

全3回の内これまでに2回を開催。

- ①野手上山を散策
- ②あぶくまもちで「おやき」づくり
- ③エコマ畑で摘心作業
- ④気まぐれ茶屋ちえこにて



- ①②杜の都のワイン祭り バル仙台(7月)
- ③④日本橋ふくしま館 MIDETTE 飯館村フェア(8月)



30食限定で完売した「気まぐれ定食」。

宝くじ「コミュニティ助成事業」を活用 コミュニティーセンターの備品を購入

長泥行政区では、宝くじの助成事業を活用し、長泥コミュニティセンター内に備品を整備しました。活用した「コミュニティ助成事業」は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施されているものです。

同行政区は、特定復興再生拠点区域の避難指示解除及び長泥コミュニティセンターの竣工に合わせ、コミュニティ活動の促進を図るため、センター内にテーブルや椅子、冷蔵庫、パソコン、テレビなどの備品を整備しました。



セブン安心お届け便の出走式に合わせて 見守り協定を締結しました

8月8日、村は株式会社セブン-イレブン・ジャパンと『地域見守りの取組みに関する協定』を締結。同日運用を開始した移動販売を通して、地域の高齢世帯の見守りに協力をいただくことになりました。

移動販売『セブンあんしんお届け便』は、弁当や惣菜、冷凍食品、日用品など約350品目を載せ、毎週火・金曜日に運行。希望する世帯を訪問します。杉岡村長は「見守りの強化と買い物環境の向上に引き続き取り組んでいく」と述べ同社の協力に感謝しました。



協定の締結に続いて行われた『セブンあんしんお届け便』の出走式。関係者がテープカットを行いました。

地域活動支援センター

10月の開所に向けて名称募集

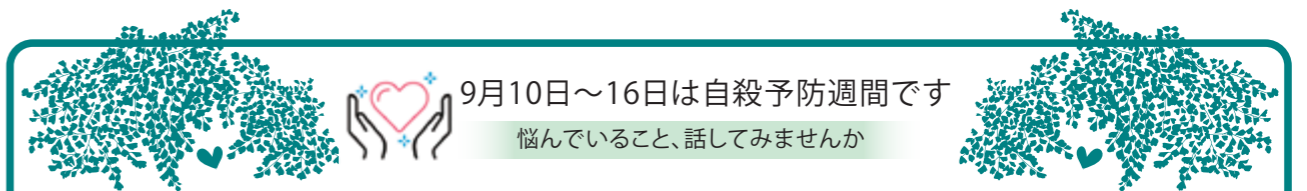
問 飯館村社会福祉協議会 ☎0244-42-1021

飯館村社会福祉協議会では、10月に開所する予定の「飯館村地域活動支援センター」(いいたてクリニック内)の愛称を募集しています。同センターは、地域において、障がいのある方が気軽に立ち寄り、創作活動やレクリエーション活動などができる福祉施設です。

愛称の募集の締め切りは、9月15日必着です。健康福祉課及び社会福祉協議会に応募箱を設置しています。応募箱に備え付けの用紙に記入して、応募箱へ投函してください。

また、郵送、ファックス、メールでも受け付けます。お送りいただく際には、①愛称・その愛称をつけた理由 ②お名前とふりがな ③住所 ④連絡先電話番号を記入し、下記送付先までお送りください。

送付先 飯館村社会福祉協議会(陽だまりの家) 〒960-1803飯館村伊丹沢字伊丹沢571
ファックス 0244-42-1040 メール hidamari@iitatesyakyo.com



9月10日～16日は自殺予防週間です

悩んでいること、話してみませんか

日本の自殺者数は令和元年に年間2万人を割り減少傾向でしたが、令和2年度以降は増加に転じて2万人を超えています。その背景は病気や経済的問題、職場や家庭の問題等、様々な要因が絡み合っています。自殺は追い込まれてしまった末の死と考えられており、それは他人事ではなく「誰にでも起こり得る危機」といえます。

一人で悩み続けることはとても苦しいことです。誰かに話をする事で心が軽くなったり、違った道が見えてくることもあります。まずはご相談ください。

♥ 飯館村のこころ・からだの相談窓口 飯館村健康福祉課健康係 ☎0244-42-1637

♥ 被災者相談ダイヤル「ふくこライン」☎0120-783-295
気持ちが落ち着かず誰かと話したい時など、専門の相談員が対応(匿名でも可)します。

♥ 「まもろうよ ところ」(厚生労働省)悩みや年代に合わせたさまざまな相談窓口を紹介するウェブサイト。24時間いつでも相談できる窓口、LINEなどSNSでも相談できる窓口などにつながります。
「まもろうよ ところ」ホームページ <https://www.mhlw.go.jp/mamorouyokokoro/> ※QRから ▶





星光典あぶくま信用金庫飯館支店長(右)から軟骨伝導イヤホンなどの寄贈品を受け取る高橋副村長。

あぶくま信用金庫から村へ 軟骨伝道イヤホンを寄贈

8月9日、村と連携協定を結ぶあぶくま信用金庫から、窓口用軟骨伝道イヤホン一式とウェットティッシュを寄贈していただきました。地域住民サービスの向上に寄与することを目的とし、地域貢献活動の一環として寄贈されたものです。このイヤホンは今後、役場における窓口対応の際、声が聞こえにくい方をサポートできるよう、住民課窓口に設置し貸し出すことを予定しています。

高橋副村長が、同金庫の多岐にわたる貢献に感謝を述べ、村からの感謝状を贈りました。



厳しい暑さの中、長い距離を歩きながら丁寧にゴミを拾って清掃活動を行いました。

道路は大切な社会資本 「道の日」に道路の清掃活動

8月10日、相双建設事務所、道路事業の関連会社、村の関連部署などが参加して、県道原町川線を中心に道路清掃美化作業を行いました。

国土交通省が設ける「道路ふれあい月間」と8月10日の「道の日」に合わせて、毎年行われている美化活動です。道路の建設や維持に関わる皆

さんが集まり、「帰省や観光で村を訪れる皆さんに気持ちよく通行していただきましょう」と申し合わせて、半日にわたり丁寧に清掃を行いました。



護身術の実演や携帯電話からの緊急通報の仕方など、約60人の村民がメモを取りながら受講しました。

犯罪を未然に防ぐ 防犯講話を初開催

8月25日、交流センター「ふれ愛館」にて、『村民のための防犯講話』を開催しました。この講話は村が開催したもので、南相馬警察署飯館駐在所の横倉浩二警部補が、防犯活動をテーマに講話を行いました。家屋を狙った犯罪を防ぐため、少しの外出の際にも施錠をすること、防犯カメラやセンサーライト、防犯砂利の活用など、防犯対策を丁寧に説明していただきました。また、福島県防犯設備協会による防犯グッズの展示イベントも同会場内で行われ、間近で防犯対策を学ぶことができました。

原賠審の県内視察に合わせ 適切な賠償への対応を要望

7月24日・25日、文部科学省の第三者機関「原子力損害賠償紛争審査会」が福島県内の被災地を視察しました。今回の視察は、審査会が見直しを行った中間指針に基づく賠償の実施状況を確認するた



めのもので、飯館村へは同25日に内田貴会長一行が訪れました。村は、会談に合わせて要望書を提出し、被災者の実情に寄り添う賠償が実施されるよう審査会の対応を求めました。



杉岡村長、佐藤村議会議長らが、長泥コミュニティセンターで、審査会の一行と会談を行いました。

産業廃棄物中間処理施設の 立地協定を締結

飯館村クリアセンター隣接地に誘致する産業廃棄物中間処理施設について、村と斎藤運輸工業株式会社が立地協定を締結しました。締結式は、関沢行政区、小宮行政区、八木沢・芦原行政区の各区長を立会人に、8月4日、交流センター「ふれ愛館」で行われました。この中間処理施設は、産業廃棄物の高度な分別と適切な処理を行うことでゼロカーボンなど循環型社会の実現に貢献すると共に、可燃性の廃棄物については村内で焼却処分ができるようになるなど、有益な活用が期待されています。



左から、大和田保男八木沢・芦原区長、齋藤達夫代表取締役、杉岡村長、長井実関沢区長、高橋正一小宮区長

私鉄総連県協議会等から 公共交通に関する要請

8月8日、私鉄総連福島県協議会と私鉄福島交通労働組合相馬支部の連名で、村に対して、公共交通の維持・活性化に向けた要請がありました。

少子高齢化、都市一極集中、地方の過疎化などの影響を受け、公共交通は多くの課題を抱えながら、一方ではその必要性が増しています。今回の要請は、そのような現状に鑑み、利用者の立場に立った公共交通の維持・活性化に向けて、行政に協力関係の強化を求めるもので、組織の各支部が管轄の自治体に要請を行っているとのこと。



私鉄福島交通労働組合相馬支部の近藤貴之支部長(右)が来庁し杉岡村長に要請書を手渡しました。



サポートセンターつながっぺでの公演。

名人芸を堪能「詩と講談のまつり」

詩人の桑原滝弥さん、講談師の神田京子さんが、8月7日、サポートセンターつながっぺと交流センター「ふれ愛館」の2会場で、『詩と講談のまつり』を開催。詩の朗読と講談を、魅力たっぷりに披露しました。また、交流センターでは、全村避難中に2人が訪問していた伊達東仮設住宅の元住民と再会。当時交わした再訪の約束を果たしました。



つながる活動部『Slur』の料理教室

『Slur』は、「事業者と事業者をつなぎ、新しいワクワクを作りたい」と、この夏発足した活動部。8月20日に料理教室『COOKRING』を交流センター「ふれ愛館」で開催し、ラ・カッセの佐藤雄紀シェフによるライブキッチンスタイルで、村の特産品を使った3品を15人の参加者が楽しく調理しました。また、トルコギキョウを使って料理を彩るテーブルコーディネートも。参加者は「自分達で作ったとは思えない程おいしかった」「新しい出会いの場としてとてもよかったです」と笑顔を交わしていました。



『COOKRING』は定期開催を予定。次回は9月18日を予定しています。



slur_iitate
Instagram



飯館ライオンズクラブが標語で呼びかけ

8月20日、飯館ライオンズクラブが、白石地区と役場前の交差点に、交通安全と薬物乱用防止を呼びかける看板を設置しました。同クラブの結成45周年を記念して行われたものです。白石地区の交差点に設置された交通安全の標語は、今年3月、いいたて希望の里学園の児童生徒から募集した標語のうち最優秀賞を受賞した3点の作品です。当日は約20人のライオンズクラブ会員が協力し、設置作業を行いました。



英工務店に防火安全協会から表彰状

8月24日、英工務店が相馬地方防火安全協会から表彰を受けました。この表彰は、消防法の基準に適合し、その維持管理が優秀で、過去10年以上無火災・無事故に努め、他の模範となると認められた事業所等に贈られるものです。英工務店は、平成6年に同協会飯館支部に入会してから28年間、無火災、事故防止に努めてきた功績が認められました。表彰状は横山義幸南相馬消防署飯館分署長(写真右)から高橋英明社長に授与されました。



比曽の農地に広大なヒマワリ迷路

菅野義人さん(比曽)は、比曽坂の中腹にある農地に、緑肥作物としてヒマワリを植えています。そのヒマワリ畑に迷路がつくられていると、地区の方からお聞きし、菅野さんをお願いして写真を撮らせていただきました。全長約600mの迷路には3段階のステージがあり、途中で休憩所や展望台が設けられています。菅野さんのお孫さんをはじめ、夏休みに帰省した地区の皆さんが、この広大な迷路を楽しんだそうです。見事な絶景でした。



大渡さんのアスパラ都内マルシェへ

7月29日、大渡和公さん(草野)が、アークヒルズ(東京都港区)のマルシェに出店し、自身の生産するアスパラガスを販売しました。この「ヒルズマルシェ」は“つくりてに出会えるマルシェ”をコンセプトに定期的に開催されているもの。東京都在住の長女・美咲さん、次女の佑美さんが協力して今回の出店を企画しました。大渡さんは福島市在住の三女・美香さんと共に当日の朝現地に向かい、採りたてのおいしいアスパラガスを都心の消費者に届けました。



南東北クボタがナタネの選別を実演

8月4日、南東北クボタが飯樋町で、選別機によるナタネの選別の実演を行いました。選別に使用したのは、11区営農組合で生産しているナタネです。同営農組合では、乾燥調整施設だけでは雑草を取り除くことが不十分であるため、これまでは手作業で選別作業を行ってきました。使用した選別機は本来、エゴマを選別する際に使われる機種ですが、今回の実演で、ナタネの選別にも十分機能することが分かりました。



選別機できれいに選別されたナタネ。



建長寺にて。

永井川カフェ～夏の鎌倉旅～

ゆかいなしあわせカフェ永井川の皆さんが、8月5日から2泊3日で神奈川県鎌倉市を訪れました。この旅は、「未来・連福プロジェクト」が平成25年から開催しているイベント『建長寺で会いましょう!』の招待で、飯館村から参加するのは3回目です。建長寺をメインに、鶴岡八幡宮や小町通りなどを見学し、現地のボランティアの皆さんと交流しました。「未来・連福プロジェクト」は、福島心の復興支援のために活動続ける、神奈川県的女性団体です。

産業団地整備計画(構想)について 問 村づくり推進課商工観光係 ☎0244-42-1620
雇用の創出・企業誘致を推進するために

令和2年に策定した「飯館村第6次総合振興計画」に掲げた「村内での雇用の場の確保等のため企業誘致を行う」ことの実現に向けて、有利な国の補助金を活用した産業団地の整備計画を構想しています。整備予定地は、相馬農業高等学校飯館校の周辺地区です。

この事業計画構想について資料を全戸に配付しました。ぜひ目を通していただき、皆さまのご意見をお寄せください。

この事業計画構想については、8月27日に開いた深谷地区住民説明会において地区の皆さまから一定のご理解をいただいたことを踏まえ、8月28日付で県に対して「飯館村のなりわい創出に向けた相馬農業高等学校飯館校の活用にかかる要望書」を提出し、飯館校の本校への統合並びに県敷地の村への譲渡を要請しています。

整備予定地について

候補地選定には、①インフラが存在し、整備が容易な村の中心となる立地、②アクセスしやすく、人が集まりやすい立地、③村の産業特性を踏まえ、産業集積の拠点となり得る立地であることの3点を考慮しました。

以上を踏まえ令和4年度に候補地調査を実施し、相馬農業高等学校飯館校周辺地区を整備予定地として選定しました。

募集 未来へつなぐ農業支援事業

問 産業振興課農政第一係 ☎0244-42-1621

村の農業の振興を支援するための「飯館村未来へつなぐ農業支援事業」を受け付けています。事業の活用を希望される方は、補助要件、補助率等をご説明しますので、産業振興課までご相談ください。出荷・販売を目的に農作物を栽培している方が対象です。

未来へつなぐ農業支援事業 農業経営の発展・安定化等を図るため、村内農業者または避難農業者に対し、次の経費を補助します。

- 補助メニュー
- 出荷や販売を目的とした農作物栽培のための消耗品費、燃料費、収入保険料等
 - 認定農業者等による農業用施設の設置工事費、資材代、福島県産スマート農業機械を導入するために必要な経費、農業用施設修繕費等
- ※令和5年4月1日以降の経費が対象となります。



8月の村の動きと主なできごと

- 1日・教職員村内めぐり研修(長泥地区他)
- 3日・子育てほっと相談会(子育て支援センター)
- 4日・令和5年度第2回行政区長会議(交流センター「ふれ愛館」)
- 産業廃棄物中間処理施設立地協定締結式(交流センター「ふれ愛館」)
- 5日・いいたてナイター駅伝(いいたてスポーツ公園)
- 6日・いいたて夏まつり(いいたて村の道の駅までい館)
- ふかや風の子広場3周年記念イベント(ふかや風の子広場)
- 7日・第10回福島ユナイテッドFCカップ(いいたてスポーツ公園)
- 7〜10日・上智大学学生といたて希望の里学園生徒の交流会(いいたて希望の里学園)
- いきいきわくわく学びの旅(北海道)
- 8日・地域見守りの取組みに関する協定締結式・セブンあんしんお届け便出走式(村役場)
- 10日・道路ふれあい週間道路清掃美化活動(交流センター「ふれ愛館」駐車場・県道原町川俣線)
- 12日・いいたて村の道の駅までい館6周年感謝祭(いいたて村の道の駅までい館)
- 18日・飯館村フェア(東京都中央区・日本橋ふくしま館ミナッツ)
- 農業委員会定例総会(村役場)
- 19日・佐須地区営農計画打合せ(佐須公民館)
- 飯館村成人式実行委員会(交流センター「ふれ愛館」)
- 飯館村文化財保護審議会(交流センター「ふれ愛館」)
- 21日・飯館村文化財保護審議会(交流センター「ふれ愛館」)
- 21〜26日・集団検診(いちばん館)
- 22日・飯館YOUTOKO発見ツアー検討委員会(交流センター「ふれ愛館」)
- 24日・定例教育委員会(福島市)
- 25日・村民のための防犯講話(交流センター「ふれ愛館」)
- 29日・第3回いいたて村文化祭実行委員会(交流センター「ふれ愛館」)
- 31日・固定資産評価審査委員会(村役場)

住民懇談会を開催します

問 村づくり推進課企画定住係 ☎0244-42-1613

村では、村民の皆様の「思い」を聞かせていただくために、次の日程で『住民懇談会』を開催します。対象行政区を設定していますが、ご都合の悪い場合は他の回への出席も可能ですので、ぜひご参集ください。

月日	時間	対象行政区	会場
10月1日(日)	午前10時～11時30分	1～9区	交流センター「ふれ愛館」(ホール)
	午後1時30分～3時	10～16区	交流センター「ふれ愛館」(ホール)
10月7日(土)	午前10時～11時30分	指定なし	福島県青少年会館(大研修室)
	午後2時～3時30分	17～20区	交流センター「ふれ愛館」(ホール)
10月14日(土)	午前10時～11時30分	指定なし	サンライフ南相馬(研修室)



昨年度の住民懇談会。



馬産の歴史

馬と暮らした時代

歴史の散歩道

飯館村は馬産が盛んな地域でした。山中郷と呼ばれていた江戸時代には、藩営の牧場が延べ2000ヘクタールほどあり、農耕や小荷駄(荷運び)に適した馬を産出していたと伝わります。

明治11年には県内一円をまとめる福島県馬産会社が発足しましたが、不安定な経済情勢に翻弄され同26年に解散。代わりに各地に馬産組合が置かれました。

明治11年には県内一円をまとめる福島県馬産会社が発足しましたが、不安定な経済情勢に翻弄され同26年に解散。代わりに各地に馬産組合が置かれました。

家族総出で世話して暮らした馬と人との関わりは深く、村内には馬頭観音の碑や馬頭観音堂が今も数多く残ります。



馬頭観音は馬の供養に個人や講中が建てました。写真は丘の上の馬頭観音堂に続く鳥居(飯樋町)。



市の様子。市は「おせり」と呼ばれ、道の両側にたくさんのお店が出て祭りのようににぎわっていたそうです。



交流センターではさまざまなジャンルの書籍・雑誌・絵本を貸し出しています。ぜひご利用ください。

人生のどん底にいる主人公・奈緒は、10歳の息子・涼介を連れて故郷へ帰ります。すると、年離れた父親が事故に遭ってしまいます。看護師の免許を持ちながらも医療現場での経験がない奈緒は、父親が入院する病院で働き始めます。独居高齢者の暮らし、終末期医療、介護等、過疎地域の現実がひしひしと伝わってきます。満天のゴールにたどり着くために、私達はどうか生きていけばよいのか。作者に看護師の経験があるからこそ、物語の内容はともリアル。読めば死生観が変わる1冊です。



「満天のゴール」著者・藤岡陽子 出版社・小学館

おすすめ図書を紹介いたします

ふれ愛館だより

交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

いいたて イノサル通信

伊丹沢モデル事業報告

～役員会での検討と柵による防除試験～

8月号のイノサル通信『野生動物を撮る』でも少し触れましたが、伊丹沢地区をモデル地区として、住民が行う鳥獣対策を支援しています。前回触れた内容は、私たちが支援として行っている調査についてでしたが、今回は住民の方々と一緒に行った取り組みを紹介します。

■ 地区役員会での聞き取りと対策検討

現在までに2回、役員会に参加させてもらい、センサーカメラ調査等の報告、被害状況の聞き取り、地区に合った対策の検討を行いました。被害状況を聞くと、やはりニホンザルによる被害が多く、侵入を防げるはずの複合柵(下部に金属メッシュ柵、上部に電気柵)を設置しても、農地に侵入されてしまうとのことでした。また、追い払いを実施している方もいますが、あまり効果を感じていないようでした。

そこで、皆で話し合い、まず以下の2つをやることになりました。

- ① 柵による防除試験：ニホンザルによる被害が出ている農地の柵を改善し、センサーカメラにより動物の侵入を監視しながら、こまめな見回りと手入れをします。その結果から、効果のある防除柵の設置と管理を明らかにします。
- ② 目撃及び追い払いの情報収集：住民からニホンザルの目撃情報、追い払いの実施状況、それに対するニホンザルの反応などの情報を集め、追い払い含め、今後の対策を考える材料とします。

今回は上記の2項目の中から、柵による防除試験の取り組みを紹介します。

■ 柵による防除試験

試験を行う農地は、道路より低い所にあり、また、柵と電柱や倉庫が近いことから、柵の上部から飛び込まれている可能性があります。また、金属柵の上部と電気柵の線の間隔が広がっている部分もありました。

改善として、ニホンザルの足場になる道路の法面や倉庫などから柵を3m以上離すため、外周を一回り小さくし設置し直しました(下の写真を参照)。その際、電線の間隔を狭く、一定になるよう調整しました。これにより飛び込みや電気柵の線の隙間からの侵入が防げるはずでした。



柵による防除試験の結果や、今回詳細を紹介できなかった目撃及び追い払いの情報収集については、次回以降のイノサル通信等でご報告します。

イノサル通信は村の鳥獣対策を支援する鉄谷さんからのお知らせです。



福島県避難地域鳥獣対策支援員

鉄谷 龍之 さん

平成31年4月から同支援員。令和3年から飯館村の鳥獣対策に携わり、今年度から村の主担当。専門は野生動物管理・鳥獣被害防除。



アイデアと熱い想いに 飯館村が彩られた夏

第13回

杉岡 誠 村長の 愛楽故郷味

あいらくふるさとみ



8月28日、福島県教育長に「飯館村のなりわい創出に向けた相馬農業高等学校飯館校の活用にかかる要望書」を提出して参りました。高齢化率が上昇し続けている村にとって、医療・介護のための自主財源を確保すること、子育て世代・働く世代を増やすことは急務であり、その大前提となる「働く場所」「産業」の創出の「環」となる「飯館校敷地を活用した産業団地整備（構想）」について、今月号に同封しました。9月25日までの間、村役場および交流センターに設置するご意見ボックス、または飯館村HPお問い合わせフォームをご利用頂き、村民の皆様のご意見をぜひお寄せください。

ゆく夏を惜しむように、色とりどりの花々が咲き誇っております。9月以降もまだまだ暑い日が続きます。お体の声に耳を傾け、ご自愛くださいますようお願い申し上げます。

立つているだけで汗が噴き出す猛暑の8月。「ワクワク」を彩るイベントが多数開催されました。

5日のお昼から開催された「いいたてアカペラヴィレッジ」は、上飯樋地区のゲストハウスCOCODAに宿泊しながら村を楽しんできた大学生達のアイデアが見事に実現したものです。「アカペラを披露することで村を盛り上げたい」という学生の熱意が、都内をはじめ、全国のアカペラグループを村に呼び寄せてくれました。是非、今後も学生ならではのアイデア、若さを生かした行動力で、村に躍動を与えて頂けたら幸いです。

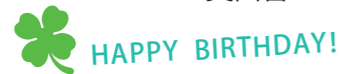
同日の夜は、第2回目となる「いいたてナイター 駅伝2023」も開催されました。特筆すべきは「飛び賞」の賞品となった精肉店「肉のゆーとぴあ」の飯館産黒毛和牛のお肉です。大学生達がナイター駅伝で獲得したものを一口だけ頂きましたが、お肉を口にした瞬間が絶賛する美味しさでした。時期によって「一枚橋地区の「田舎レストランLaKasse（ラ・カッセ）」でも「賞味頂く」ことが出来ますので、ぜひ皆さまにも味わって頂きたいと思います。

今月はこの他にも、ふるさとの担い手によるイベントが盛りだくさんでした。飯館村は皆さまの「ワクワク」や「これがしたい!」という熱い想いを大切にして参ります。

ひとのうごき

誕生おめでとう

赤ちゃんの名前	親の名前	行政区
阿部 航大くん	智さん 美由喜さん	草野



結婚おめでとう

氏名	出身地
丹野 健太さん	二本松市
和田 麻美さん	八木沢・芦原



(7月21日から8月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

おくやみ

氏名	年齢	行政区
酒井 圭子さん	70	小宮
庄司 久代江さん	85	草野
齊藤 昭子さん	94	深谷
大澤 フチノさん	101	上飯樋

ご冥福をお祈り申し上げます

ひとのうごき 令和5年7月31日現在

人口	今月(前月比)	7月1日~31日までの人口動態
●男	2,385人(±0)	転入 7人
●女	2,360人(±0)	転出 2人
計	4,745人(±0)	出生 2人
世帯数	1,816戸(+9)	死亡 7人
		(住民基本台帳人口)



こんにちは、協力隊の横山です。コーヒー屋です。

ついこの前、年が明けたと思ったのに気づいたら8月! 猛暑と言われる中、飯館の涼しさに感動しております。5月にオープンしたコーヒー屋では日々手探りで奮闘中。そんな中、先日は村の人の同窓会で利用して頂きました!



コーヒー屋の食堂
飯館村草野字大師堂65

カフェ時間の店名は
Coffee Pour House(コーヒーポアハウス)



久しぶりに集まってみんなでワイワイ、本当に楽しそう! また別な日には農業委員会のお昼ご飯で20名ご来店!

団体様でご利用の場合は事前にご相談頂けますと定休日でもできる限り対応しますので、まずは店舗にて店主にご相談下さい。

人々の集まる居心地の良い空間を目指して。

※店主



今月のライター

地域おこし協力隊 横山梨沙さん

村民広報委員 ふじおさんの いいたて 宝さがし



第14回 ~ふるさとへの想い~

暑い暑い今年の夏。福島市に住む井上家治さん、千枝さん夫妻(深谷)を訪ねてきました。

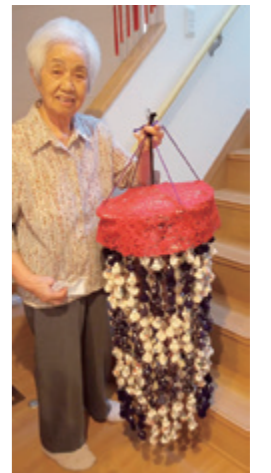
美容室に行っているという千枝さんを待ちながら、家治さんに話を聞くことができました。

家治さんは大倉出身の三男坊。ランプ生活をしたこと、自衛隊に6年間勤め北海道で特科部隊に所属していたこと、後に飯館村役場に30年間勤めたこと、総務課や当時では少ないスクールバスの整備士なども、自衛隊で取得した資格を活かして兼務していたことなどを話してくれました。川柳が趣味の一つで、数年前に投稿した句が新聞に取り上げられ驚いたそうです。



美容室から帰ってきた千枝さんは、手芸が趣味で素敵な作品をいろいろと見せてくれました。そして時々、飯館に帰ってきた時はふるさとの空気を吸って、風を感じ、鳥の鳴き声を聞いて懐かしいと思い、心を和ませていると話してくれました。

『金婚は固い絆の宝なり!』仲の良い結婚60年のおふたりの人生の重さを感じさせていただきました。



県代表として東北連盟大会で意見を発表

「までいな牛作りを目指して」

「令和5年度福島県農業クラブ連盟・第42回福島県高等学校総合文化祭農業部門」の意見研究発表大会に出場した佐藤隆人さん（福島明成高校3年／飯樋町）が最優秀賞を獲得。県の代表として「第74回日本学校農業クラブ東北連盟大会」に出場しました。

意見発表のタイトルは『までいな牛作りを目指して』私の目指す和牛の繁殖経営』。隆人さんは、避難先から福島に戻って来た頃感じていた無力感、父の仕事に触れ自分も畜産に取り組みたいと願うようになった心の変化、より

よい経営ができるよう将来を見据えて研究を進める現在と自身の歩みを振り返りながら、未来にあるべき畜産経営のビジョンをつづり発表しました。「心を込めた飼養管理ができる人になりたい」。隆人さんは、スマート農業も活用し、牛の命に向き合う「までいな牛作りを目指したい」と考えています。「よい経営を行えば後続く人の役に立つ。飯館村をもっと多くの人に黒毛和種で知ってもらいたい」。隆人さんは東北連盟大会でも思いを込めて意見を発表。優秀賞を受賞しました。



佐藤隆人さん（飯樋町）



「父は牛も牧草もすごくよくやっていて尊敬する」と話す隆人さん。友人のような距離感で話せる親子だそう。



畜産家の父・豊洋さん、祖父・隆男さんの牛の世話も手伝います。「必要とされて手伝えることがうれしい」。

第74回日本学校農業クラブ 東北連盟大会

令和5年8月24日～25日 岩手県盛岡市

日本学校農業クラブ東北連盟の主催。農業に関する学科を有する高等学校の農業クラブ活動を基盤とする大会で、日頃の学習成果の発表や農業に関する技術競技を行います。大会を通してクラブ員が連帯感を持って切磋琢磨し、地域農業を発展させるスペシャリストとしての能力や態度を育むことも目的としています。出場するのは各県大会で代表に選ばれた皆さん。隆人さんは福島県代表として〈意見発表 分野I類〉に出場しました。

暮れなずむ空の色。肌心地よいそよ風。ナイター駅伝はランナーを歓迎するやさしい雰囲気とみんなで走る楽しさにあふれた素敵なイベントでした。精一杯の力走、笑顔のタスキリレー、チーム以外にも届く声援。ずっと浸っていたい景色でした。（星）

おかしくなりそうな猛暑の8月、県内外から多くの人と笑顔が集まりました。飯館村の夏の風物詩となりつつあるイベントも大盛況。暑さに負けない「熱さ」を感じました。さらに今月は待ちに待った敬老会開催です。長寿番付を見て、人数の多さに今年も圧倒されました。（菅野）

〈編集後記〉

Native 26 Speakers

ネイティブ・スピーカー 飯館言葉の達人たち

なめこ〜い ぺろ!



飯館村 YouTube

なめこ〜い ぺろ!